

都市再生整備計画(第4回変更)

なかのし
中野市地区

長野県 なかのし
中野市

平成28年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	中野市	地区名	中野市地区	面積	11206 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

目標 大目標:機能的できめ細かな安全・安心なまちづくり。 目標1:災害に強いまちづくりを推進する。 目標2:幹線道路や避難施設等にアクセスしやすい道路整備や市街地の歩道整備を推進する。
--

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 <ul style="list-style-type: none"> 平成19年度から平成23年度までの5年間で実施した、中野地区都市再生整備計画に引き続き、その事業成果をさらに高め、相乗効果が現れるよう以下の事業についてさらなる推進を図る必要がある。 災害時に避難所となる公共施設の耐震改修及び耐震化が進んでいない箇所があることや避難施設に通じるアクセス道路や歩道等の整備が十分進んでいない箇所がある。また、災害時の救助活動や復旧作業及び避難者の支援活動等の拠点となる総合的な防災施設の整備が充実していない。とりわけ、3月11日の東日本大震災により市民の防災意識が高まっており、災害に強いまちづくりが必要となっている。 中心市街地は、幹線道路が放射状に配置され、他地域や周辺市町村からアクセスしやすい形態となっている。しかし、住宅地から幹線道路に通じるアクセス道路の整備が不十分な箇所があり、交通渋滞や交通安全上の問題を引き起こしている。地域住民のスムーズな移動及び安全性の確保のため、幹線道路へのアクセス道路の整備が必要となっている。 中心市街地及びその周辺地域は、人口が集中していることや少子高齢化が進んでいること等で安全・安心なまちづくりが求められている。子ども、高齢者、障がいのある方等の安全な生活を支える歩道整備の推進が課題となっている。 中心市街地には、市庁舎等の公共施設や医療、商業、金融等の施設が集中し、さらに住宅も密集しているため災害時の避難場所や避難者の支援活動等ができる広場が不足しているため広場の整備が必要である。また、平常時には花や緑による癒しの広場としての活用が可能となる。
課題
将来ビジョン(中長期) <ul style="list-style-type: none"> 中野市総合計画の中の後期基本計画において「安全・快適で機能的な都市基盤づくり」を推進することとしている。 中野市都市計画マスタープランにおいて「災害に強いまちづくり」や「人にやさしいまちづくり」等の基本目標が設定されており安心して暮らせるまちづくりを推進することとしている。

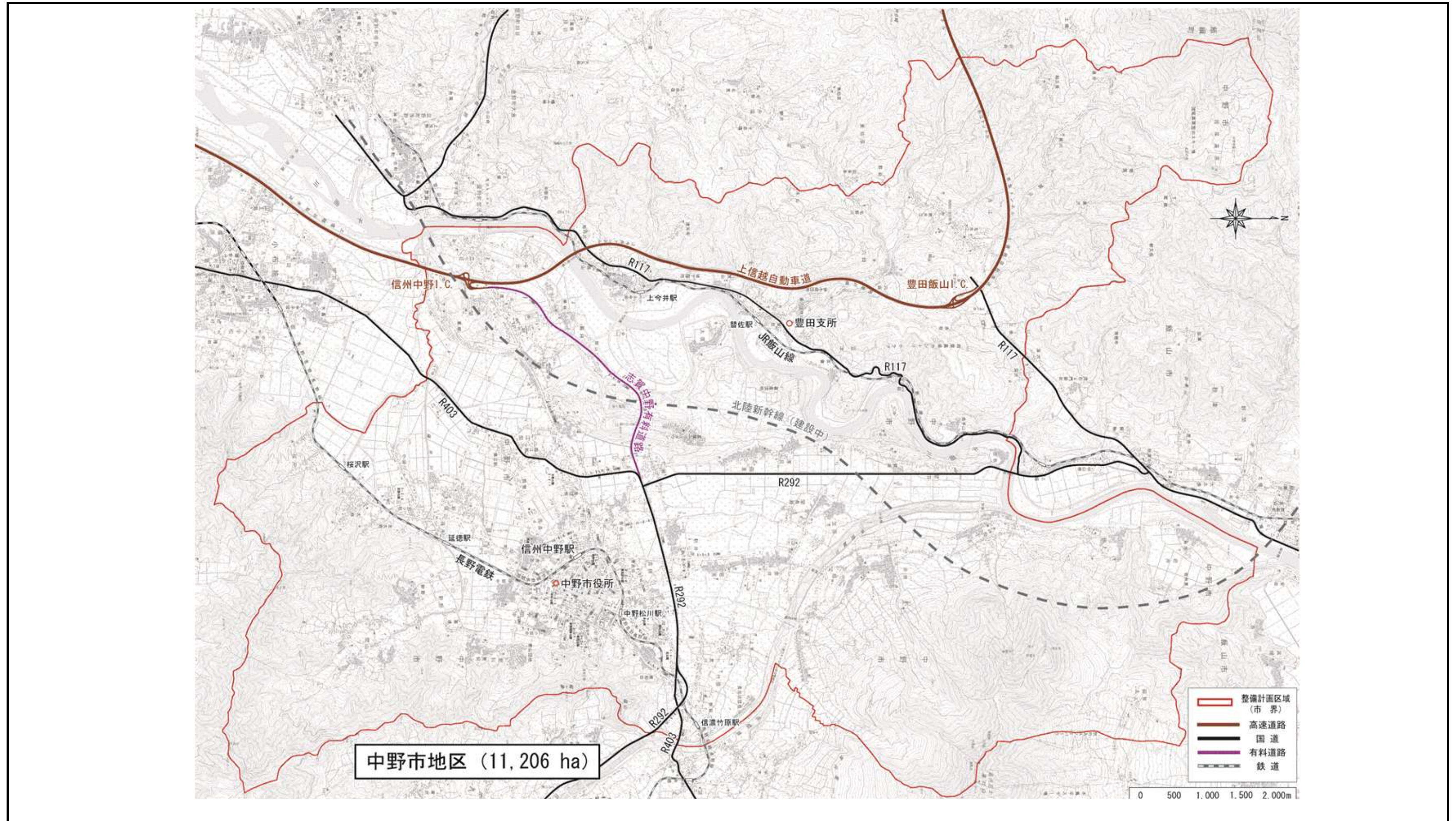
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地震時の避難者収容施設耐震化率	%	地震により居住する場所を失った住民を収容する避難施設の耐震化率	災害に強いまちづくりを推進するため、地震時の避難者収容施設の耐震化率を100%にする。	92%	23年度	96%	26年度
道路網や駐車場など自動車の利用のしやすさ満足度	%	市民意識調査による「道路網や駐車場など自動車の利用のしやすさ」についての満足度	道路整備、歩道整備及び駐車場整備を進め、市民の道路網や駐車場の利便性の向上を目指す。	-0.01	22年度	0.03	28年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(災害に強いまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震時の避難施設の耐震性を確保するとともに、避難施設としての機能を高め、安全・安心なまちをつくる。 災害時の総合的な対応が可能となる拠点施設を整備し災害発生時に迅速な対応ができる機能を備える。 老朽化している保育所を建て替える。災害に強い安全・安心な公共施設の整備を推進する。 災害時の避難場所や避難者の支援活動等ができる空間が不足しているため広場の整備が必要である。 	<p>多目的防災広場整備、中野市中央公民館耐震補強等事業、中野市立日野・平野・倭・豊井小学校屋内運動場耐震化事業、みよし・西町保育所整備事業、東町10号線、上小田中1号線、長丘1号・厚貝19号線、月宮院線、平岡小学校金井線、岩井赤岩線、間山34号線、七瀬44・49号線、草間52号・53号線、桜沢3号線・科野3号線、駅東口線、斑山線、河原1号線、親川芋川線、米山線、東田線、中野25号線、大正橋草間線、三俣替佐(停)線、相生線(東)、三好町線(東)、中町線、三好町線、篠井間山線、平野1号線、中野26号線、中町線(中)その2、延徳7号線</p>
<p>整備方針2(幹線道路や避難施設等にアクセスしやすい道路整備や市街地の歩道整備の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路・歩道整備の推進により、安全な移動空間を確保し、人にやさしいまちづくりを進める。 住宅地から避難施設や幹線道路へのアクセスをスムーズにし、また、安全性の確保を進める。 	<p>道路拡幅事業:東町10号線、上小田中1号線、長丘1号・厚貝19号線、月宮院線、平岡小学校金井線、岩井赤岩線、間山34号線、桜沢3号・科野3号線、駅東口線、親川芋川線、米山線、篠井間山線、平野1号線、 道路新設事業:七瀬44・49号線 道路改良事業:草間52号・53号線、斑山線、河原1号線、延徳7号線 道路表層舗装事業:東田線、中野25号線、大正橋草間線、三俣替佐(停)線 歩道整備事業:相生線(東)、三好町線(東)、中町線、三好町線、中野26号線、中町線(中)その2</p>
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

<p>中野市地区(長野県中野市)</p>	<p>面積</p>	<p>11,206 ha</p>	<p>区域 中野市中央1~4丁目、三好町1~2丁目、西1~2丁目、諏訪町、南宮。以下は一部。小館、東山、大字中野、大字小田中、大字西条、大字間山、大字新野、大字更科、大字桜沢、大字三ツ和、大字篠井、大字新保、大字江部、大字岩船、大字吉田、大字片塩、大字七瀬、大字安源寺、大字栗林、大字牛出、大字立ヶ花、大字草間、大字大俣、大字田麦、大字厚貝、大字壁田、大字新井、大字若宮、大字竹原、大字金井、大字間長瀬、大字笠原、大字越、大字深沢、大字赤岩、大字柳沢、大字田上、大字岩井、大字上今井、大字豊津、大字穴田、大字永江</p>
----------------------	-----------	------------------	--



中野市地区(長野県中野市) 整備方針概要図

目標	機能的できめ細かな安全・安心なまちづくり	代表的な指標	地震時の避難者収容施設耐震化率 (%)	92%	(23年度)	→	96%	(26年度)
			道路網や駐車場など自動車の利用のしやすさ満足度 (%)	-0.01	(22年度)	→	0.03	(28年度)

